

都リハビリテーション病院の沿革

昭和55年10月	東京都「東京都におけるリハビリテーション医療体制のあり方に関する報告書」 (リハビリテーション医療供給の中核となる専門病院の設置提言)
昭和57年12月	「東京都長期計画」 (リハビリテーション専門病院の設置、200床程度、公設民営方式)
昭和59年 3月	「白鬚東防災拠点医療センター構想検討会報告書」 (平常時機能としてリハビリテーション専門病院)
昭和62年 9月	着工(竣工:平成元年11月)
平成 2年 5月	一部開設(入院89床) 管理運営受託:社団法人東京都医師会
平成 3年 5月	全面開設(入院165床)
平成13年12月	東京都要綱に基づく「地域リハビリテーション支援センター」に指定
平成18年 4月	指定管理者制度の導入
平成18年 7月	病院機能評価認定取得(※)
平成26年10月	病床再編(一般45床⇒34床、回復期120床⇒131床)
平成28年 4月	365日リハビリテーション実施
令和 元年 6月	回復期リハビリテーション病棟入院料1算定開始(4S、5階、6階病棟)
令和 4年 5月	病院機能評価【高度・専門機能「リハビリテーション(回復期)」】認定取得(※)

※病院機能評価

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みであり、(財)日本医療機能評価機構が第三者機関として中立的な立場で医療機関を評価している認定制度。